新居浜工業高等専門学校			開講年度	令和03年度 (2	2021年度)	授業科目	授業科目「特別活動		
科目基礎			•		•				
科目番号	CIIJIK	109030			科目区分	一般 /	必修		
授業形態		講義			単位の種別と単位数 履修単位				
開設学科		機械工学科	N		対象学年	3	<u>u. 0</u>		
開設期		通年	1		週時間数 前期:1 後期		後期・1		
教科書/教	***	- 地子			週刊日数 開始、1 1交流		1交利1.1		
担当教員	(1/2)	田中 大介							
		四十 八八							
到達目標									
ルーブリ	ノツク				I=3#.11 =15±.		10		
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レヘ	ジルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1									
評価項目2									
評価項目3									
		目との関係	糸						
社会性 (F									
教育方法	去等								
概要									
	め方・方法								
注意点									
本科目0									
Webシラ	バスと本校園	夏修要覧の科!	目区分では表記が	異なるので注意する `ある。	こと。				
			「①必修科目」で	`ద్రావం					
		<u>上の区分</u>	1		1				
□ アクテ	ーィブラーニ	ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業		
授業計画	<u> </u>								
			受業内容			週ごとの到達目	1標		
		1週							
		2週							
		3週							
	1stQ	4週							
	1300	5週							
		6週							
		7週							
前期		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
	2ndQ	12週							
		13週							
		14週							
		15週							
		16週							
後期	3rdQ	2週							
		3週							
		4週							
		5週							
		6週							
		7週							
		8週							
	4thQ	9週							
		10週							
		11週							
		12週							
		13週							
		14週							
		15週							
	1 1	16週							
= "	_ アカリキ		 学習内容と到達						
分類	<u> コノ カラオ</u>	-ユ ノムの- 分野	学習内容	Eロ1法 学習内容の到達目相	=		到達レベル 授業週		
ノノバス		ノノ エゴ	דונים דו	」 ロ : 」ロ シンゴルモロ (/ 1		エルエレ・ソレ 1又木/型		

			_					1	
		汎用的技能	北川的技能	円滑なコミュニケー				3	
)	八用的技能			円滑なコミュニケー づち、繰り返し、7	-ションのための態 ボディーランゲージ	渡をとることがで など)。	ごきる(相	3	
				目標の実現に向けて	こ計画ができる。			3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。				3	
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。				3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。				3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。				3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。			3		
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。				3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。			3		
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。			3		
		態度・志向性	態度・志向性	キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。			3		
分野横断的 能力	態度・志向 性(人間力)			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。				3	
1				高専で学んだ専門分ように活用・応用で)野・一般科目の知 されるかを説明でき]識が、企業や大学 言る。	等でどの	3	
				企業等における技術	所者・研究者等の実	務を認識している	00	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。			3		
				企業における福利原 の進路としての企業	厚生面や社員の価値 美を判断することの	i観など多様な要素)重要性を認識して	から自己	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。				3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。			3		
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。				3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。			3		
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。				3	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。				3	
評価割合									
	試験	3	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	C		0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	C		0	0	0	0	0	
専門的能力	0	C		0	0	0	0	0	
分野横断的能力	カ 0	C	1	0	0	0	0	0	